



英文原本作成日 : 2011年1月3日  
最終英文改訂版作成日 : 2012年6月22日  
日本文訳日 : 2015年5月1日  
日本文訳担当 : 株式会社 シー・エス・シー

# 製品安全データシート

パルサーlub PL6モリブデン含有多目的グリース

## 1. 製品及び会社情報の要約

### 物質若しくは混合物の識別

#### 製品

製品名称 : パルサーlub PL6 モリブデン含有多目的グリース  
製品概要 : パルサーlub自動給油装置専用開発された潤滑グリース  
製品コード : PL6  
使用用途 : 多目的な用途の為の潤滑グリース

#### 会社/企業の識別

供給者 : KLT Co., Ltd.  
597-2, Geumseung-ri, Tanhyeon-nyeon, Paju-si  
Gyeonggi-do, Republic of Korea  
Tel. : +82 (0)31 942 8488  
Fax : +82 (0)31 942 8485

本製品安全データシートに[jostev89@pulsarlube.com](mailto:jostev89@pulsarlube.com)  
関する責任者のe-mail

緊急連絡先電話番号 +82 (0)2 2083 8488

## 2. 危険有害性の要約

分類 区分なし  
欧州規制 1999/45/EC とその修正条項によれば、製品は危険物に区分されない。

## 3. 組成、成分情報

成分/調合 : 混合物

成分名	CAS#	濃度 (%)	EC番号	分類
アルキル(C=14~30)ベンゼン	68855-24-3	10~30	272-472-8	R53(1)
N-フェニルベンゼンジアミンとスチレン、 2,4,4-トリメチルペタンの反応物	68411-46-1	1~5	270-128-1	R52(1)

供給者の現在の知識では、これに追加する既存構成物質、健康、若しくは、環境に有害な物質はなく、この章に記載する事項はない。

(1) 成分分類は、健康被害、若しくは環境危険による

## 4. 応急処置

応急処置

吸入した場合	被害者を新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休ませる。症状がある場合は、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	水で口を洗浄する。被害者を新鮮な空気の場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休ませる。飲み込んでしまい、意識の有る場合には少量の水を飲ませる。医師の指示なしに嘔吐させずに、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	多量の水で眼を洗浄し、必要に応じて上下のまぶたを開いて洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、取り外して確認し、炎症がある場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	石鹼と水、若しくは適正な皮膚洗浄剤で完全に付着した部分を洗浄する。汚染された衣類と靴を脱がせなさい。症状がある場合は、医師の診断を受ける。
応急手当を行う人の保護	いかなる人的危険を伴うことや適切な訓練をうけずに行動してはならない。
内科医への注意	症状を治療する。大量に摂取したり、吸引した場合は、毒物処理専門医と連絡をとる。
健康への影響、症状に関する詳細情報は、第11章を参照。	

## 5. 火災時の処置

消火剤	適切な消火剤：周囲の火災に適切な消火剤を使用 不適切な消火剤：特に無い
特別な暴露の危険	火災、若しくは、高熱の場合、圧力が上昇し容器が破裂する場合がある。火災が発生した場合には、その場所の周辺から全ての作業者を直ちに退去させること。いかなる人的危険を伴うことや適切な訓練をうけずに行動してはならない。
燃焼の生産物	酸化炭素(CO, CO <sub>2</sub> )、硫黄酸化物(Sox)、硫化水素(H <sub>2</sub> S)、酸化リン(PO <sub>x</sub> ) 煤煙、不完全燃焼による刺激性気体
消火の為の特別保護具	消火作業を行う者は、適切な保護具を着用し、陽圧モードで作動するフルフェイス型の自給式呼吸器具(SCBA)を着用しなければならない。消火作業を行う者の衣類(ヘルメット、防護靴、防護手袋を含む)は、化学物質事故に対する基本的な防護能力を備えた欧州規格 EN 469 に適合したものであること。
追加情報	加熱、若しくは発火させない為に、容器を加圧、切断、溶接、蠟付け、半田付け、穴あけ、研磨、日光にさらしたりしないこと。

## 6. 漏出時の処置

人体に対する注意事項	人的危険を伴うことや、適切な訓練をうけずに行動してはならない。周辺から退避させ不必要な人や防具を装着していない人を立ち入らせない。流出物の中を歩いたり、触ったりしてはならない。適切な防護用具を装着すること。
環境に対する注意事項	流出物の飛散を防止し、土壌、地下水、地表水、下水管との接触と流入を防止する。物質が環境汚染(下水、上水、土壌、空気)を引き起こした場合には関連機関に報告する。
戦場方法 少ない漏出	危険が無いのであれば、漏出を止める。漏出区域に容器を移動する。

水溶性の場合は、水で希釈し拭き取る。若しくは、不水溶性の場合は、不活性乾燥剤で吸収し、適切な廃棄容器に収納しなさい。認可を受けた廃棄業者を通じて廃棄する。

多量の漏出

危険が無いのであれば、漏出を止める。漏出区域に容器を移動する。下水、水路、基盤、密閉区域への侵入を防止する。漏出物を排水処理工場に搬入するか、下記のようにすること。  
漏出物を不燃性の吸着剤、例えば、砂、土、蛭石、珪藻類で集め、回収し、現地の規則にしたがって廃棄するために容器に収納する。認可を受けた廃棄業者を通じて廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

適切な防護具を着用すること。(第8章を参照のこと)  
この物質の取扱い、保管、使用の区域では、飲食、喫煙は禁止される。作業者は、飲食、喫煙の前に、手と顔を洗うこと。食堂に入る前に、汚染された衣類と防護具を取り去ること。

保管

その地方の規制に基づいて保管のこと。  
直射日光と乾燥から保護された純正の容器に入れ、涼しく、通気の良い場所で、不適合な材料(第10章参照)と食物・飲料から離して保管する。容器は使用開始まで確実に密閉する。  
容器を開封した場合には、漏れが発生しない様に上向きにして注意深く取り出すこと。内容物の記載の無い容器で保管しないこと。環境汚染を防止するために、適切な密閉を行うこと。

推奨する容器

純正の容器を使用のこと。

## 8. 暴露防止及び保護処置

暴露の限界値

成分名	種類	職業上の暴露限界	備考
暴露の限界値は周知されていない			

推奨するモニタリング方法

もし、この製品構成要素が暴露限界を持つならば、有効な換気、他の手段、若しくは呼吸を保護する道具の必要性を判断するために、人体、作業環境大気、生物学上のモニタリングを要求される。  
参考文献は、化学薬品の吸入による暴露の評価方法を定めた欧州標準 EN689と、危険要素の決定為の方法を定めた国際指針書とする。

暴露管理

職業上の暴露管理

特別な換気設備は不要。  
一般的な良い換気装置であれば、空気中の汚染物質に対する作業者の暴露は十分に管理できる。  
もし、製品が暴露限界の限界を含有している場合は、作業者の暴露量が推奨値、若しくは法定限度以下の暴露量になる様、囲い込み、排気装置、その他の手段で管理すること。

衛生上の対策

化学製品を取扱った後、食事、喫煙、トイレに行く前とその日の作業を終了したら、前腕と顔を十分に洗うこと。汚染された可能性の有る衣類は、適切な技術で除去すること。汚染された衣類は、再使用前に洗濯すること。洗眼場所、シャワールームを作業者詰所の近くに設置すること。

呼吸器の保護具

もし、必要との予想がある場合には、認定を受けた空気清浄機、空気

供給型呼吸器を正しく使用すること。呼吸器の選択は、分かっているか予測される暴露のレベル、製品の危険性、選択された呼吸器の安全な使用限界による。

推奨：有機蒸気フィルター

手の保護具	化学製品を取り扱う時、もし、必要との予測がある場合には、認定を受けた耐薬品性で不浸透性の手袋を常に着用すること。 推奨品：ネオプレン、ニトリル、ポリビニールアルコール、バイトン
眼の保護具	もし、必要との予測がある場合には、認定を受けた保護眼鏡を液体の飛散、蒸気、粉塵を防ぐために着用すること。
皮膚の保護具	作業者の体の保護具は、この製品を取扱う前に、専門家に認定を受けたものが選択されなければならない。
環境暴露管理	換気装置、生産設備からの排気が、環境保護法の要求に合致しているかチェックし、確実にすること。集塵機、フィルター、生産設備の改造には、時として許容レベルまで下げる必要がある。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 一般情報

#### 外見

物理的状态	ペースト(バターのような、滑らか、半固体)
色	灰色
臭気	低刺激性の様な

### 健康、安全、及び環境に関する重要な情報

比重	約0.91 g/cm <sup>3</sup> @ 15°C
水溶性	不溶解性
着火温度	基液混合：203°C[クリーブランド式]
引火点	基液混合：187°C[クリーブランド式]
爆発下限	データ無し
爆発上限	データ無し
蒸気圧	データ無し
粘度	データ無し
流動点	データ無し
ちょう度	318 (60 ストークス) @ 25°C
滴点	>296°C

## 10. 安定性及び反応性

化学安定性	安定
避けるべき物質	酸化剤、酸、アルカリ、酸性粘度に反応
有害な分解成分	加熱分解時、Cox、Nox、Sox、Pox、H <sub>2</sub> S、MoOx、煤煙、不完全燃焼による刺激性気体が発生の可能性がある

## 11. 有害性情報

皮膚	特別なデータは無い
眼	特別なデータは無い

## 12. 環境影響情報

環境への影響	重大な作用や重度の危険有害性は知られていない
--------	------------------------

水生植物生態毒性 結論/要約	該当なし
生分解性 結論/要約	該当なし
他の有害影響	重大な作用や重度の危険有害性は知られていない

### 13. 廃棄上の注意

廃棄方法	廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少量化するべきである。大量の生産廃棄物を下水管に投棄せず、最適な廃液処理プラントを設置すること。余剰、及びリサイクルできない製品の廃棄は、許可を受けた廃棄物処理業者を通じて行うこと。製品、溶液、副生成物は、常に環境保護、廃棄物処理に関する法律に定める要求事項、および、地方自治体の定める要求事項に従わなければならない。廃棄梱包は再利用されるべきである。焼却や埋立は、再利用が不可能な場合のみ検討されるべきである。廃棄物とその容器は安全な場所に廃棄されなければならない。空き容器や詰め物は、残留物を残すかも知れません。漏出した廃棄物の廃棄と土壌、水路、排水溝、下水道に流出することは回避されなければならない。
有害廃棄物	供給者の現在の知識では、EU指令 91/689/EECの定義に於いて、この製品は有害廃棄物とは考えてはいない。

### 14. 輸送上の注意

ADR / RID	非該当
AND / ADNR	非該当
IMDG	非該当
IATA	非該当
その他の情報	運送規定の中に危険として分類されていない

### 15. 適用法令

#### 欧州規格

分類と標示は、欧州指令 67/548/EEC と 1999/45/EC (修正条項含む)に基づき判断され、意図された製品使用に配慮した

リスクについて この製品は、欧州規格に基づいた区分はされていない

#### 他の欧州規格

追加の注意について 製品安全データシートは、職業上の使用者に要求に基づいて提供される

#### 国際規格

カナダ既存物質リスト 全ての成分は、リストに記載されているか免除されている

合衆国既存物質リスト 全ての成分は、リストに記載されているか免除されている

(TSCA 8b)

欧州既存物質リスト 少なくとも1つの成分がEINECSのリストに記載されていないが、他の成分は全てEINECSのリストに記載されている。この物質の既存リストに関し現地の供給者に連絡を取ってください。

#### 国際リスト

中国既存物質リスト(IECSC)

全ての成分は、リストに記載されているか免除されている

## 16. その他の情報

R-部分の全文は、セクション2と3-欧州を引用した

R52/53: 水生生物有害で、長期間水中環境に悪影響を引き起こす  
かも知れない

R53: 長期間水中環境に悪影響を引き起こすかも知れない

分類の全文は、セクション2と3-欧州を引用した

適用されない

データの入手元 要求によって開示可能

### この製品安全データシートの改定履歴

最初の発行 2011年1月3日

1回目の改定 2011年1月6日

2回目の改定 2012年6月22日

### 注意

ここに記載の情報は、弊社の知り得る限り、正確なものです。 しかしながら、記載されている供給会社、その子会社のどちらも、ここに記す情報の正確性と完璧性については、一切の法的責任を負いません。

材料の適合性に対する最終判断は、ユーザの単独責任となります。 全ての材料には未知の危険が存在している可能性があるので、注意深く使用すること。 ここに特定の危険が記載されていても、それらが起こり得る唯一の危険であるとは保障できません。